

設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

- 例題

全日本宗教用具協同組合が定める仏壇の日は毎月27日である。

○
- 問1

釈尊が説いた八正道のうち正語しょうごとは「正しい言葉」のことである。

○
- 問2

戒とは「してはならない」ことであると同時に「良い生活習慣」のことである。

○
- 問3

大乘仏教は菩薩じりりたの自利利他行などに特徴があるとされる。

○
- 問4

聖徳太子の姿を写したとも言われる救世ぐぜ観音は奈良・東大寺に祀られている。

×
- 問5

比叡山延暦寺は真言宗の本山である。

×
- 問6

浄土真宗の仏具として使われる火舎香炉は元々密教法具である。

○
- 問7

証空から始まる浄土宗の一派である西山派は「にしやまは」と読む。

×
- 問8

浄土真宗の本願寺の起こりは、もともと親鸞の廟所である。

○
- 問9

『立正安国論』は法然によって著された著作である。

×
- 問10

仏師である運慶と快慶は室町時代の人である。

×
- 問11

持仏堂は仏壇の起源のひとつとされる。

○
- 問12

江戸時代、仏師の中には位牌師を兼ねるものがいた。

○
- 問13

如来の三十二相において仏の眉はガラスのように透き通った青であるとされる。

○
- 問14

右の仏像は真宗大谷派のものである。

×
- 問15

右の脇侍の組合せは曹洞宗のものである。

×
- 問16

『俱舍論』では中有（中陰）の間の食べ物は香であるとされる。

○
- 問17

三帰戒とは仏法僧に帰依することである。

○
- 問18

儒教で言う大祥忌が仏教における一周忌になったと言われる。

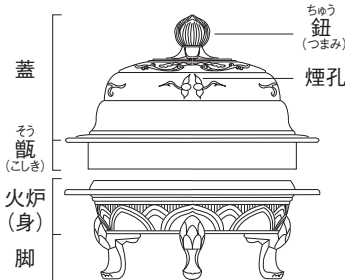
×
- 問19

四十九日法要が明けると喪明けとなる。

×



問4
救世観音



問6 火舎香炉



問14



問15

採点欄

--	--

(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

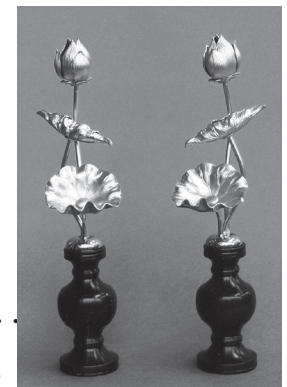
○×記入欄

- 問20 二つの法要を合わせて行うことを併修^{へいしゅう}と呼ぶ。 ☐
- 問21 仏像や位牌における魂入れとは撥遣^{はっけん}供養のことである。 ☐
- 問22 神道において毎年の命日に行われるおまつりを正辰祭^{せいしんさい}と呼ぶ。 ☐
- 問23 右の仏壇は浄土真宗本願寺派のものである。 ☐
- 問24 仏壇内部において本尊などを安置する一段高い壇のことを天板と呼ぶ。 ☐
- 問25 上質の漆は11月から1月の寒い時期に採取される。 ☐
- 問26 漆は金箔・金粉で加飾する際の接着剤としても使われる。 ☐
- 問27 仏壇公正規約では金箔に含まれる金の量が60%のものは「金箔」の表示ができる。 ☐
- 問28 極東ロシアで産出する紅松は、商業取引目的の伐採が規制されている。 ☐
- 問29 仏壇公正競争規約において正面表面材として表示するのは
上台輪・下台輪・戸板・大戸軸のことである。 ☐
- 問30 仏壇公正競争規約における正面表面材の加工の表示で「厚板貼り」とは10ミリ以上の厚さの無垢板を
芯材に貼ったものをいう。 ☐
- 問31 仏壇公正競争規約において芯材がMDFの場合、芯材の表示用語は ☐
- 問32 ウォールナットは中央アフリカで産出される。 ☐
- 問33 屋久杉とは鹿児島県の種子島で産出されるスギ科の樹木である。 ☐
- 問34 ウレタン仕上で使われるポリウレタン樹脂塗料はポリエステル樹脂塗料に比較すると ☐
- 問35 右の花は常花と呼ばれる仏具である。 ☐
- 問36 木鉦は浄土宗で使われる仏具である。 ☐

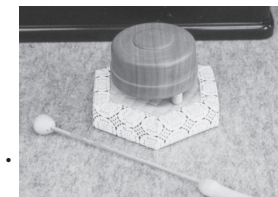
問23



問35



問36



採点欄

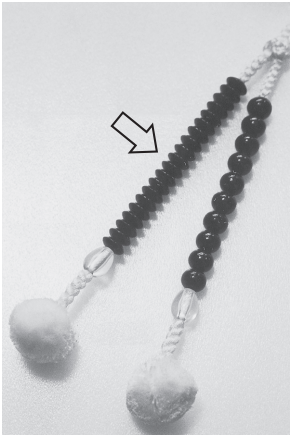
--	--

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×記入欄

- 問37 珠数の右の部分の珠はツユ珠と呼ばれる。 ☐
- 問38 戒名は仏教の戒が授けられることで与えられる。 ☐
- 問39 真鍮とは銅と錫の合金である。 ☐
- 問40 ローソクの原料となる蜜蝋は蜜蜂が分泌するものを原料とする。 ☐
- 問41 神宮大麻とは伊勢神宮が頒布する神札のことである。 ☐
- 問42 仏壇公正競争規約では店頭の仏壇や広告における掲載仏壇に原産国等表示を義務づけている。 ☐
- 問43 仏壇公正競争規約では「当社だけ」「最高級」などの用語を具体的な根拠がなくても使用することができる。 ☐

問37



設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の記入欄に書いてください。

例題

例題 真言宗の宗祖は《空海》である。 ☐

仏教では正法・像法・末法という時代区分の考え方があり、日本では《①奈良時代》に末法に入ったとされました。

この末法とされた時代に広がるのが、極楽浄土への信仰ですが、地獄の詳細な描写が極楽への信仰を強めたとも言えます。

源信の著した《②往生要集》には、八大地獄と呼ばれる地獄の様子が描写されています。

この源信と同時代の僧侶である《③空也》は市聖と呼ばれ、民衆に念仏を広めました。

貴族の間で広がった極楽往生の憧れを象徴する京都・平等院の《④大日如来坐像》は定朝によって作られたものです。

《⑤親鸞》は『一枚起請文』の中で「念仏の念とは、極楽往生のために南無阿弥陀仏と称える念である」と説きました。

浄土真宗において読誦される《⑥『正信偈』》は親鸞の著作である『教行信証』の偈を元にしたものです。

阿弥陀如来の成仏と一回の念仏を同じとし（十一不二）、踊念仏でしられる《⑦一遍》は時宗の宗祖です。

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
設問2 ○×記入欄	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

採点欄

--	--